

間伐実践・環境教育部門 特別賞

Forest Good 2017 間伐・間伐材利用コンクール

一般財団法人 九電みらい財団

(会社名・団体名等)

| | |
|-----------------------------|--|
| 連絡先 (公表可能な範囲で ご記入下さい) | (住 所) 〒810-8720 福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号 (担当部署等) 一般財団法人 九電みらい財団 (電話番号等) TEL:092-982-4627 FAX:092-982-4676 |
|-----------------------------|--|

| | | |
|--------------------------------------|---|---|
| 取組の名称 | 「くじゅう九電の森」における環境教育 | |
| 取組名称 の説明 | ・大分県由布市にある「くじゅう九電の森」(水源涵養林として整備された九州電力株の社有林)において、次世代を中心とした環境教育(間伐体験や間伐材を活用した工作など)を実施 | |
| 取組のきっかけ | ・九州電力株は、グループ理念である「ずっと先まで、明るくしたい。」という「九州電力の思い」の実現に向けて、平成28年5月に「一般財団法人 九電みらい財団」を設立 ・財団の取組みのひとつとして、子どもたちの環境保全意識を啓発し、将来の九州の環境保全につなげることを目的として、社有林や九電グループが持つノウハウを活用した講座と体験プログラムから成る環境教育を展開 | |
| 取組内容・特徴 | ・講座では、独自のテキスト「環境ガイドブック 私たちの暮らしと森」に基づき、地球温暖化の現状やその抑制につながる森の公益的機能および森の適切な管理手法等を学習 ・体験プログラムでは、社有林を活用した間伐体験により、森の適正管理の必要性を学び、間伐材を活用した工作(黒板、鉛筆、木のベンチなど年齢に応じた内容)により、森林資源を活用することの重要性を実感するなど、体験を通して講座内容への理解を深める。 | |
| 実行体制・ 安全対策等 (他団体との連携 状況を含む) | ・九州電力株の社有林を長年管理してきた九州林産株と連携。林業の専門知識を持ち、かつ普通救命講習(消防本部の指導・認定)を修了した者を講師として指導を実施。また、必要に応じて、自治体や関係団体、林業関係者など、地域の方へ講師補助を依頼 ・環境教育実施前には、毎回チェックリストを基に活動場所を点検し、参加者へのリスク低減を徹底 ・間伐体験実施時には、長袖・長ズボン・ヘルメット・軍手を着用し、各班1名以上の講師や講師補助者を配置(1班あたりの参加者人数は8~10名程度)し、安全管理を徹底 | |
| 実績 | 除間伐実績 | ・1班あたり1本間伐し、各日程4~6班に分かれて間伐体験を実施 |
| | 環境教育 | ・平成28年度実績 実施回数:19回 参加人数:738人 ・平成29年度推定実績 実施回数:24回 参加人数:約1,300人 (8月末時点実績 実施回数:11回 参加人数:553人) ※参加者は主に小中学生 |
| 取組による効果等 | ・プログラムを通じて、森の公益的機能の発揮が私たちの暮らしを支えていることを伝え、自然を大切にすることを育むことで、森林、環境問題、省エネ等への興味・関心を高めている。 ・プログラム後に実施する理解度クイズでは、約85%の正答率となり、学んで体験する環境教育の効果が現れている。更に、アンケートの自由記入欄では、「森を適切に管理することの大切さが分かった。」「間伐した木を私たちの暮らしに使うことがエコだと思った。」などの意見を多数いただいております。環境保全意識の啓発につながっている。 | |
| 製品等の写真、図表 | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>間伐体験の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>間伐材を活用した工作で、黒板と鉛筆を作</p> </div> </div> <p>※ 九電みらい財団のHP【http://www.kyuden-mirai.or.jp/】にも、活動報告を掲載中</p> | |

掲載する写真や図表はこのスペースに収めて下さい。

このほかに図表や写真がある場合は、添付別途願います。